

# 交通安全いきいき情報

令和4年2月号

富山県警察本部交通企画課 (076)441-2211 (内線 5043)



## 令和3年中の県内の交通死亡事故(29件29人)

令和3年中の県内の交通人身事故は、発生件数・負傷者数とも平成13年以降21年連続で減少。交通事故死者数は29人で、前年の26人と比べて3人増加となりました。

### ● 事故類型別死者数 ( )内は高齢者数(内数)

**車×人**

11人(7人)

**車×車**

※自転車利用者・車両同乗者  
車両対列車の事故含む

11人(7人)

**車単独**

※自転車等軽車両・自動二輪車含む

7人(5人)

### ● 交通死亡事故の特徴

#### 死者の6割以上が高齢者!

死者29人中、65歳以上の高齢者が19人(構成率65.5%)と6割以上を占め、前年の22人(同84.6%)に比べ減少こそしましたが、依然として高齢者が当事者となる死亡事故が多く発生しています。



#### 原因の多くが前方不注意!

最も多い事故原因は、前方不注意10件(構成率34.5%)、次いで多い事故原因は、運転操作不適8件(同27.6%)でした。



#### 歩行者事故は日中にも発生!

「車×人」の事故は、日中に5件、夜間に6件発生しており、夜間の事故のうち、3人は反射材を着用していませんでした。



#### 高齢歩行者の横断中の事故が多い!

歩行者事故11件のうち、横断中の事故は6件で、5件が高齢歩行者でした。また、横断中の事故は、6件とも、ドライバーから見て右から左への横断中という特徴がありました。



#### 自転車と車の事故が多く発生!

自転車利用者と車両の事故による死者は6人で、前年に比べ5人多く、6人中5人が高齢者でした。

	R3	R2	
自転車×車	6	1	+5
うち高齢者	5	1	+4

#### ●ドライバーは!

身体機能の変化を自覚し、確実な安全確認と安全な速度・車間距離を保つなど、無理のない運転を心掛けましょう。

#### ●歩行者は!

明るい服装や反射材を活用して周りに自分の存在を知らせるとともに、信号や横断歩道がある場所で横断するなど安全な行動を心掛けましょう。

横断歩道では、手を上げるなど横断する意思を伝え安全を確認してから渡りましょう。

また、横断中も安全を確認し、斜め横断や走行車両の直前・直後の横断はやめましょう。

### 富山県内の交通事故発生状況 (令和4年1月末現在)

年	区分	発生件数	死者数	負傷者数
令和4年		176件	1人	198人
	(高齢者)	41件	0人	29人
令和3年		174件	2人	197人
	(高齢者)	31件	0人	26人

※ 高齢者とは65歳以上の方です。